

ふるさとと歴史 アラカルト

岩国の新聞「興風時報」

今から100年前の大正6(1917)年5月20日、岩国の新聞「興風時報」が発刊されました。編さんと発行は岩国町の塩井亮吉で、戦時中に合併、休刊もありましたが、昭和31(1956)年まで延べ2千号以上を発行して、岩国地域の情報を伝えました。発刊のあいさつの中には、その目的として「周東地域における郷里のできごとを遠く故郷を去りて異郷に奮闘さるる各位に通報し、月に花に念ひを郷里に馳せらるるに心へんとする通信の機関となる」^{「嘉言善行を記述し正義を唱導し社会風教の改善に努力する」}とあり、故郷を離れて活躍する人々に故郷の状況を伝えること、良い言葉や行いを記すことにより、社会が良い方向へ向かうようにすることを目的としていたことが分かります。

記念すべき第1号の記事は、発刊に対する各方面からの祝辞や後援者の名簿から始まり、岩国尋常小学校長の山縣有が岩国について記した連載「岩国の沿革」や藤岡市助とともに白熱舎

(株式会社東芝の前身の一つ)を創立した三吉正一の伝記「日本電気界之恩人三吉正一氏之伝記」「明治戊辰役五十年祭兼各戦役招魂祭挙行」の記事、その年の岩国の桜の状況や火事、出生、死亡、学校や町役場などの人事異動のことまで多岐にわたった情報が記されています。また面白い記事としては「この土地をすみ心地のよい郷に」するため「どなたにでも容易にできる問題」を毎号出していく「主張」という記事があり、この号では「履物は脱ぐ時、自分で向きをかへて揃へて上がる事をお互いに実行しましょう」と記されています。

興風時報には、昭和25年のキジア台風による流失やその後の再建工事を含めた錦帯橋のことも多く記されており、また当時建てられた建物や行われていた行事のことなど、地域の新聞ならではの情報も多く記されていることから、近現代の岩国を知ることのできる貴重な資料といえます。

いわくにちようこかん 岩国徴古館

昭和20年に旧岩国藩主吉川家によって建てられ、その後岩国市に移管された市立の博物館

住所：横山二丁目7-19 ☎0452
休館日：月曜(祝日の場合はその翌日)

▶興風時報第1号。興風時報は中央図書館で閲覧できます。



岩国市 人口・世帯

人口 138,921人 【前月比 + 893人】 男性 65,801人 女性 73,120人

世帯 66,234世帯 【前月比 + 136世帯】 ※外国人人口を含む (平成29年4月1日現在)

交通事故発生件数 3月分事故件数 36件(146件) 死者数 2人(2人) 傷者数 41人(173人)

※高速道路発生分を除く ※ () 内は平成29年累計

広報テレホン

休日在宅医療機関、イベント情報などをお知らせしています。 **テレホンサービス ☎231234**

目の不自由な人へ

「広報いわくに」のカセットテープをお貸しします。音声読み上げのためのテキスト版を、ホームページに掲載しています。

お問い合わせはお気軽に、広報戦略課広報班へ ☎295016 FAX213337